

平成22年度第2回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成22年5月18日(火) 18:50~20:40

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者]10名: 田山未知(敬愛会中頭病院)、島袋恭子(敬愛会中頭病院)、喜納美津男(きなクリニック)、大城清(県立北部病院)、伊藤昌徳(ハートライフ病院)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、友利健彦(北部地区医師会病院)、足立源樹(那覇市立病院)、笹良剛史(南部病院)、増田昌人(琉大病院)

[欠席者]8名: 上原弘美(患者)、安次富睦子(沖縄県介護支援専門委員協会)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、大城馨(沖縄県福祉保健部医務)、上田真(沖縄県立中部病院)、栗山登至(琉大病院)、中村聖哉(琉大病院) 棚原陽子(琉大病院)

[陪席者]1名: 松澤智子(琉大病院)

<報告事項>

1. 「平成22年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について
平成22年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。
2. 委嘱状授与について
次回へ繰り越し
3. 診療情報提供書(統一版)について
診療情報提供書・統一版(=「緩和ケア情報シート」)について、栗山委員の代理で事務局より、県内での運用開始の報告があった。

<協議事項>

1. 平成23年度日本ホスピス・在宅ケア研究会開催について
県立北部病院・大城清院長より(大会長)、緩和ケア部会に対して、平成23年7月16・17日(土・日)に沖縄コンベンションセンターで開催予定となっている「日本ホスピス・在宅ケア研究会」への後援依頼があり、全会一致で承認された。
実行委員会のサポートを、今年度緩和ケア部会事業行動計画「緩和ケア認識の普及」に組み込むことが協議され、後日メーリングリスト上で検討することとなった。
2. 今年度事業計画見直しについて
①10項目ある本年度事業計画には、本年度中に実施の目途が立たないものがある為、「緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟普及を図る」、「2次医療圏ごとに

緩和ケア協議会を設置する」、「緩和ケア外来の普及を行う」の3項目を削除することが承認された。さらに、「緩和ケア専門医療従事者の育成」については、「緩和ケア研修会指導者の育成」の事業内容の一部とすることが協議された。

②新たに、「緩和ケア認識の普及」という項目を設け、【日本ホスピス・在宅ケア研究会実行委員会へのサポート】、【沖縄がん心のケア研究会（ワークショップ・講演会）】と【介護職および医療職を対象とした施設・一般病院における看取りのケア（セミナー開催）】を事業内容として入れることが検討された。

③「ホスピス病棟を持つ病院・在宅医療との連携強化」の事業内容に、【緩和ケア施設調査に関する実態調査（栗山 Dr.）】と【疼痛除去率調査（笹良 Dr.）】を入れることが承認された。なお、緩和ケア施設調査の為、増田委員より、オリブ山病院スタッフに招聘を依頼することが承認された。

3. 「沖縄県緩和ケア研修会 2010 in 石垣」について

次回部会にて、研修会事前打ち合わせを行うことが全会一致で承認された。

4. 「沖縄県がん診療連携協議会」ホームページ・リニューアルについて

時間の都合上、次回へ繰り越し

5. 「沖縄県緩和ケア研修会 2010」について

笹良部会長より、今年の8月21日以降、日本緩和医療学会から研修会プログラムに新モジュールが導入されるとの報告があった。これによって、一般型での研修会が時間的に困難になるため、単位型プログラムを導入する方針が検討された。

豊見城中央病院が緩和医療学会主催で、9月19・20日（日・月祝）に緩和ケア研修会を開催する予定であることが報告された。

今後、拠点病院以外の医療施設が研修会を開催する場合には、沖縄県の規定に沿ったプログラムを行うことが義務付けられている為、緩和ケア部会に参加して打ち合わせをする必要があることが話し合われた。